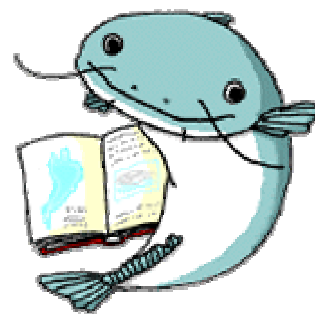


図書館をもっと楽しむために・・・

～2006年度をふりかえって～



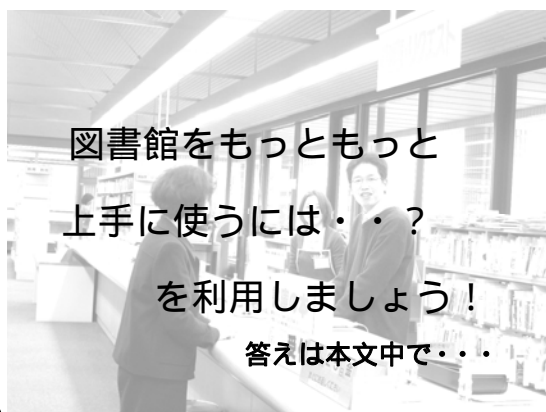
貸出冊数

101万冊!

たくさんのご利用
ありがとうございました

調べる楽しみ

読書の楽しみ

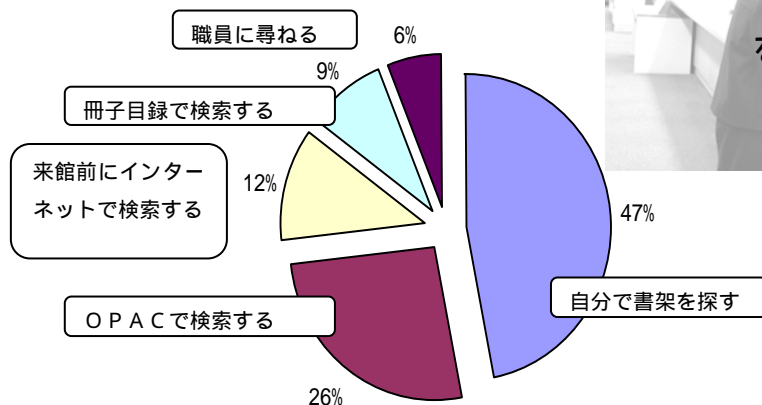


図書館をもっともっと
上手に使うには・・・?

を利用しましょう!

答えは本文中で・・・

本を探すとき、もっともよく使う方法は?



INDEX

(特集) 図書館をもっと楽しむために・・・・・・・・・・・・・・・・	2～3面
FLASH ふらッシュ～AEDが図書館にも!・・・・・・・・	4面
郷土資料紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	4面

図書館をもっと楽しむために

～ 滋賀県立図書館の2006年度をふりかえって～

たくさんのご利用
ありがとうございました

*貸出冊数101万冊

昨年度1年間で、利用者の皆様に101万2,526冊の本をお借りいただきました。これは回転率から見れば当館の約110万冊の蔵書のほとんどが一度は読まれたという計算になります。たくさんのご利用ありがとうございました。これからも、職員一同、図書館の仕事を通じて皆さんの読書の拡がりをサポートします。

* 県民1人あたり貸出冊数4年連続1位

『日本の図書館2006』によると、県民1人あたりの貸出冊数が8.02冊と4年連続1位になっています。滋賀県では県内の各市町立図書館と県立図書館がネットワークを組み、滋賀県内にある図書館全ての力を総動員したサービスに努めています。滋賀県の図書館は、県民の皆さんのお役に立つ図書館でありたいと願っています。

ご存知ですか？
図書館のこんな楽しみ方

* 「文化ゾーン探検隊」

図書館の資料は、各資料室の書棚に並んでいるものだけではありません。ふだん皆さんには入っていただけない地下書庫にもたくさんの資料があります。



平成18年度「文化ゾーン子ども探検隊」より

昨年8月には、夏休みの子どもたちが、この広い地下書庫を探検しました。子どもたちは目当ての一冊を探し当てるために、書庫の端から端まで走りぬけ、たくさんの本の前に興奮している様子でした。11月3日の「文化の日文化ゾーン探検隊」でも地下書庫の探検を実施、日ごろ目にする事のない110万冊の蔵書を体感してもらえたようです。

* 読書の楽しみ

一般資料室のテーマ展示



「・・・映画を観ていて、あるシーンに流れていた音楽が印象的だったが、それはマーラーの曲だという。伝記をいくつか読み始めたが、図書館にはもう書店では入手できない本もあるので、いろいろと選ぶのがまた楽しい。妻アルマにも興味を持ったが、参考文献を見ると出版されているではないか！しかも県立図書館にも所蔵されている！」

ある一冊の本を読んでいると、その本をきっかけに次々と興味が広がっていく、これも読書の楽しみのひとつですね。

図書館には、新しく出版される図書はもちろん、長年収集・保管されてきた現在では入手できない貴重な図書もたくさんあります。書庫にある豊富な蔵書は、ふだん皆さんの目に触れず、ただ請求があるのを待っているだけではもったいない、ということで始めたのが一般資料室のテーマ展示です。書庫にあるものも含めて、関連する本を集めることで、皆さんにとっての、

大切な一冊に出会っていただければと思います。テーマ展示は図書館職員が皆さんにお届けする読書の楽しみ方のひとつの提案です。

*** 調べることの楽しみ**

「ナマズの知恵袋」

当館では皆さんの日常の疑問解決に役立つ「ナマズの知恵袋」を年4回発行しています。こんなことを調べたいときにはこんな資料が便利、という調べ物のコツについて様々なテーマを扱い解説しています。

図書館には様々な調べものについての相談が多く寄せられます。カウンター職員総動員で「知恵」をしばり皆さんの期待に応えられるよう努めています。

探しものはなんですか？

カウンターには「人」がいます

皆さんは、図書館で本を探すときどうしますか？ 2007年2月に実施した利用者アンケートによると、最も使われる方法としては、「自分で書架を探す」「OPAC(利用者用検索機)で検索する」という方がほとんどで、「職員へ尋ねる」方は約6%と少数でした(表紙グラフ)。

*** 散歩の途中で・・・**

ある天気の良い日、女性の方が二人連れで参考資料室に來られて、さっそく職員に話しかけられました。「サツキってどんな字を書くのか何を見たら載っているの？」そこを歩いていたらきれいに咲いているからふとそんな話になって図書館に來ました。職員と一緒に植物図鑑や百科事典、国語辞典などを広げて調べているうちに、今度は「サツキとツツジってどう違うの？」

という話になりました。そこで職員が一般資料室にある「サツキ」と「ツツジ」の園芸の本も参考になることを案内しました。

皆さんと職員との何気ない会話の中には実は大きな発見が隠れている、ということもあります。日常のふとした疑問から、図書館にちょっと立ち寄ってみることで、目からウロコが落ちる体験ができるかもしれません。

*** どうぞお使いください！**

職員の経験と勘

「子どもがカニの絵を描くのに参考になる写真が載っている本を探しているのですが・・・。」

カニの写真なら、「水に住む生き物の観察」の本や、図鑑などたくさんありますが、そのお子さんにとっては絵を描くには、どうも参考にしづらい様子です。その時職員が思い出したのが料理の本でした。ある一冊の「カニ料理」の本の表紙いっぱい、赤くて大きなカニの写真が！

このような例は職員が毎日欠かさず棚の本に触れ、カウンターで利用者の皆さんと接しているからこそです。滋賀県立図書館にどんな資料があるのか、どの資料に何が載っているのか、いちばんよく知っているのが職員です。検索だけではお手上げ、といった内容のものでも、毎日当館の書棚を目にしている職員なら、「確かあの本の中にこんなことが・・・。」と職員の記憶と勘が大きな手がかりになることもあります。

職員に尋ねていただくことで、本を探す違った視点に気がついたり、それをきっかけに読書の世界が広がったり、そんな経験をしていただければと思います。

今月のBOOKまーく

お家でゆっくりネット予約

インターネットからの予約がカウンターやOPAC（利用者用検索機）からの予約を上回って、予約受付件数全体の半数以上になっています。利用されている時間帯を受付時間別に見てみると、夜9時から12時までが全体の3割を占めています。ご家庭でくつろぎながら資料を探しておられることがうかがえます。

インターネット予約を利用するには、パスワードが必要です。まだご利用でない方はカウンターまでお声がけください。

メールアドレスを登録いただくと、予約の本がご用意できましたらメールでご連絡することもできます。

FLASH ふらっシュ

AEDが図書館にも！

～国際ソロプチミスト大津様よりご寄贈～



みなさんもうお気づきでしょうか？玄関をお入りいただいてすぐのところにAED（自動体外式除細動器）が設置されました。

これは、国際ソロプチミスト大津様から認証25周年を記念して、県内の施設にご寄贈いただいたものです。国際ソロプチミスト大津は、実業界で活躍する女性、専門職に従事する女性の国際的なボランティア奉仕団体で、現在23名の会員がおります。5月17日に図書館にお寄りいただき「今後も皆様のお役に立てる活動をしていきたい。」とおっしゃってられました。

図書館では、設置を機に館内の職員全員がAEDを使用した救命救急講習も受講し、万が一の場合の体制も更に万全となりました。

湖国の本棚



『丸木舟の時代

- びわ湖と古代人 - 』

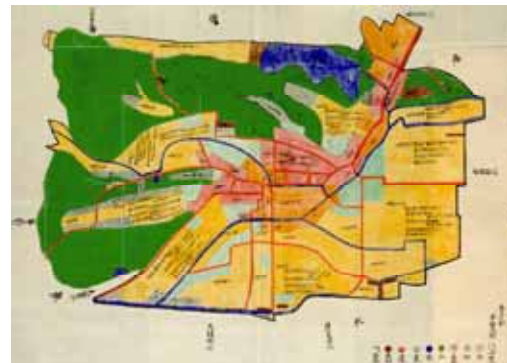
滋賀県文化財保護協会編

サンライズ出版 2007.3

昭和39年、近江八幡市水荃内湖から縄文時代の丸木舟が30艘近く出土、滋賀県での丸木舟研究はここから始まりました。

本書では、長年にわたる丸木舟研究の成果をもとに開催されたシンポジウムの記録を中心に、出土当時の様子や、復元丸木舟の実験航海、出土丸木舟の保存方法などが詳しく紹介されています。

今月のデジタルアルバム帖



7月「明治大正期・蒲生郡の物産と名勝 2」

5月に続いて、蒲生郡の物産を「滋賀県管下六郡物産図説」や蒲生郡役所が作成した写真帖から紹介します。

郷土資料紹介

伝教大師最澄の寺を歩く
延暦寺監修 JT B⁺ プリッシング 2007年
霊山三蔵 覚書
成宮正也著刊 2007年
悠久の山里 ふるさと高野の歴史
永源寺高野字史会編刊 2007年
近世成立期の大規模戦争 戦場論 下
藤田達生編 岩田書院 2006年
近江東海道浮世絵浪漫
北斎・広重らと行く夢回廊
近江歴史回廊推進協議会近江東海道部会編
近江歴史回廊推進協議会 2006年
湖にふく風 出納長からの手紙
池口博信著刊 2006年
饗庭野 高校生のための社会科読本 4
中島峰夫著刊 2007年
たんけん!!彦根城表御殿 小学生用解説書
彦根城博物館編刊 2007年
彦根城を極める
中井均著 サンライズ出版 2007年

平成19年3月～4月購入・寄贈分

てんひこ 百三十周年記念誌
記念誌委員会編 天彦産業 2007年
近江の茶百年、こぼれ話 和敬静寂
小島秀治郎著 吉澤喜代雄著
滋賀県茶業会議所 2006年
龍になった鯉のぼり
岡坂拓造作 山本和代絵
ゆみる出版 2007年
深山口の詩 絵手紙でつづる
村山敏子著刊 2007年
彦根城の四季 国宝・彦根城築城400年
熊木喜蔵著 東方出版 2007年
秋桜 佐々木公子歌集
佐々木公子著 だるま書房 2007年
茜 句集
前田夕起子著刊 2007年
いけず 句集
朝日彩湖著 青磁社 2007年
言葉とともに
中居和平著刊 2007年